

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像 自らの課題に気づき、学び続ける子										堺市立 日置荘西小学校 校長 石田 愛			
令和7年度 重点目標 ◆「ひ＝一人ひとりの個性を大切に」・・・発達段階や特性に応じた児童理解を進め、一人ひとりを大切にし個性や可能性を伸ばす ◆「き＝きれいで落ち着き」・・・規範意識を持ち、互いの立場を思いやることができる豊かな心を育てる ◆「に＝にこにこ笑顔あふれる環境のもと」・・・健やかで安心安全、秩序と活気のある教育環境づくり ◆「し＝しっかり考え、学びあう児童を育成」・・・自ら学び、他者と協働しながら、学んだことを生かしていける資質・能力の育成 を、保護者・地域との連携・協働のうえ、教職員のチーム力を持って取り組む。													
確かな学びの現状 ○「日置西スタンダード」を数年間提示してきており、未だに定着度にばらつきが見られるものの、その定着度はあがっている。 ○「検証分析改善シート」の結果より、学習することが大切だと感じている児童が多い。 ○落ち着いて課題に取り組む姿や、意欲的に学びを進める姿が多く見られる。一方で、自分の思いを話したり、相手に伝わるように書いたり、説明したりすることに苦手意識を感じ、どうすればよいかわっている児童もいる。 ○自己や友だち、教師との対話の中で、新たな見方や考え方に気づき、考えを深めることができている場面も増えてきてはいるが、まだ定着できたとは言い難い。										豊かな心・健やかな体の現状 ○居場所と出番のある安心できる学級づくりを行い、積極的に学んだり、関わり合ったりする中で、豊かな心を育成する。 ○なかよし会など異学年集団での活動を通して、リーダー性・自主性を育成する。 ○体育授業で児童振り返りを活用し、体力向上をめざす。 ○生活集団については朝食喫食率は高いが、就寝時刻を守れている児童の割合が低い。			
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)					
								自己評価		学校関係者評価			
確かな学び	特別支援	人と人との関係や教室環境など、学習環境のユニバーサルデザイン化を図り、どの子も集中して学べる環境づくりをすすめる。	「日置西スタンダード」にもとづき、学習環境のユニバーサルデザイン化について共通理解し取り組むことで、どの子にもわかりやすく、集中して学べる環境づくりをすすめる。	児童アンケート(肯定80%以上) 「1日の流れを分かって生活できている」 「授業中、落ち着いて学習に取り組めている」	教育アンケート	年度末							
	教科学習	自ら学びを進めることができる児童を育てるために、今年度から「子と子のつながり」「ふりかえり」「言語活動の充実」「ICT活用」の4つを重点目標に置いて授業づくりに努め、児童一人ひとりの資質・能力の向上をめざす。また、日置西スタンダードとして、研修・人権・支援の3つの視点から自身を見つめ、児童が学ぶ土台作りの徹底をはかる。	●★他者や指導者との対話、ICT、本などの資料の活用によって、新たな見方・考え方に気づき、自分の考えをより深めることができる児童を育てる。	児童アンケート(肯定80%以上) 低中高の「考えの深まり」を示す項目 「タブレット・本などの資料を使って調べる活動を行っている。」	教育アンケート	年度末							
			児童一人ひとりの学びを見とる目を養いながら、授業力向上にむけて研修テーマにそった授業研究をグループで行い、それについて討議し、授業改善に活かす。	研究授業・公開授業を年に6本以上行う。	実践報告	每学期							
			●学習のまとめとして、自らの学習をふりかえる活動や、次の学習につなげる活動を、意図的に授業で用いる。	児童アンケート(肯定80%以上) 低中高それぞれの「ふりかえり」を示す項目	教育アンケート	年度末							
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	自分のよさを知り、多様な価値観を認め、人とつながり協働できる児童を育てる。	特別の教科道徳の年間計画に基づき、すべての教育活動において計画的・継続的に道徳教育を充実させる。	教科書や「未来をひらく」の効果的・計画的な活用。道徳の公開授業の実践。	実践報告	每学期							
			●教育活動全体を通して、友だちと学ぶ楽しさや達成感を味わったり、自他の良さに気づいたりできるように取り組み、安心できるなかまづくりを行う。	児童アンケート(肯定85%以上) 「学校が楽しい」 「困ったときに相談できる人がいる」 「学校で、友だちと仲良くすごしている」	教育アンケート	年度末							
			学校生活において、あいさつやそうじなど、活動の意義を理解することで、豊かな心を育み、意欲的に取り組む力を育成する。	児童アンケート(肯定90%以上) 「あいさつを自分からしている」 「そうじを最後までしっかり取り組んでいる」	教育アンケート	年度末							
	体育・保健	児童の振り返り・げんきアップカードを活用し、健康な体づくりをする。	児童の振り返りを活用し、課題解決型の体育の授業を充実させ、体力向上を図る。 げんきアップカードで、規則正しい生活習慣についての啓発を行う。	①児童アンケート肯定90%以上 「うまくなるように考えて運動している」 ②「げんきアップカードを年3回実施、生活習慣に関する保健指導を年1回実施	①教育アンケート ②「げんきアップカード	年度末							
地域協働	地域共育学校	学校情報を積極的に発信するとともに、保護者や地域住民による学校評価、学校経営への参画、授業への参加により、地域に信頼される学校づくりを進める。	学校だより「いとはぎ」、学年だより、ホームページ等を活用し、教育活動の現状や、学校、学級での取り組みの発信に努める。	学校ホームページを毎日更新し、情報を発信することで、本校教育活動への関心を高める。	HPアクセス統計	毎月							
			●地域ボランティア等に教育活動の場に参加していただき、図書や特別支援等への支援を受けるとともに、学校経営への参画や学校評価への協力を受け、学校改善を図る。	地域ボランティア等への協力依頼回数、活動回数の維持に努めながら、学校改善に繋げられるよう地域との連携を深める。	実践報告	年度末							
校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)						